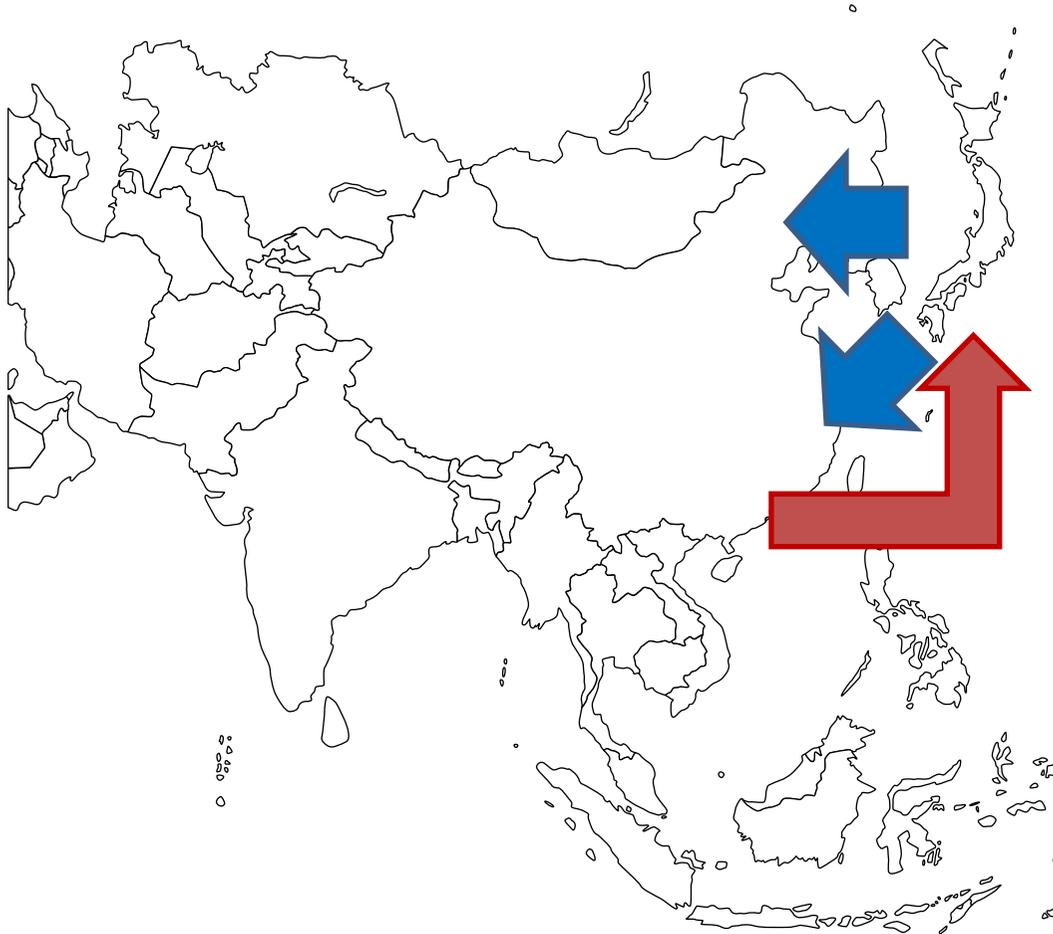


3月30日 知的財産戦略本部会合 配布資料

知的財産戦略本部 本部員 長谷川 閑史

アジアでのビジネス上のリーダーとなるための一つの ツール: アジア知財支援・共通システム



現状:

グローバルでの特許取得
高コスト、不安定な権利
⇒グローバル事業展開の壁

日本の特許制度
欧米で高評価

提案:

まずは急成長市場のアジアで日本が
リーダーシップを発揮し、アジア地域
の特許制度をサポート

・アジア統一特許制度の確立

(1) アセアン諸国
ASPECとの連動

(2) 中国・韓国

アセアン諸国での実績を基に

・新成長戦略との連動

予想される結果:

日本がアジアの知の集約地、および、
発信地に

アジア諸国における費用対効果の高い
特許権取得(事業展開)が可能

大学等の研究機関の研究成果を 競争力に結びつけるために(産学連携)

